

事務事業評価における総括

部 局 名	議会事務局	記入責任者	栗原 謙二
評価について（現状と課題）			
<p>【事業の達成状況について（現状）】</p> <p>議会事務局の 13 事業のうち 12 事業については、活動目標を達成しS評価としています。また、「大学等との連携」の 1 事業については、当該年度における活動目標は達成したが、成果は今後見込めることからB評価としています。</p> <p>【達成できた（できなかった）要因についての分析（課題）】</p> <p>地方分権時代に即した議会となるため全国的に議会改革が求められており、本市議会においても制定した議会基本条例に基づき、市民の負託に応えるべく議会改革に努めました。</p> <p>事業達成の要因としては、的確かつ効率のよい議会運営が行えるよう、綿密な情報収集・分析を行うとともに執行部を始め関係機関と十分協議しながら事務を進めたこと、また、市民にわかりやすく開かれた議会となるよう、市民との意見交換会・議会報告会、本会議及び委員会のインターネット配信など、積極的な広報活動や広聴活動に努めたことなどによるものと考えます。</p>			
今後の方向性			
<p>【政策・施策目標の達成に向けた今後の方向性について】</p> <p>順調に進捗している事業については、継続して取り組みを進めてまいります。併せて、さらに市民に開かれ、わかりやすく、信頼される議会となるよう適宜事業の見直しを行ってまいります。</p> <p>具体的には、会議映像配信に係る業務について、いつでもどこでも視聴可能な議会の会議の映像を継続して配信するとともに、議案内容を把握できるよう議案書等の電子データを市議会ホームページへ掲載するなど、開かれた議会に向けて積極的な広報に努めます。また、市民との意見交換会等を積極的に行い、市民と課題を共有し政策立案に生かしていきます。</p> <p>議会改革を推進するため、議会改革検討会において、議会の制度等に関する見直し、議会基本条例の的確な運用・検証等について取り組みます。また、議会運営委員会において、現行の議事運営の課題を積極的に取り上げ、その解決に向けた協議を行います。</p> <p>政策討議活動については、議会の政策形成機能の向上を図るために常任委員会ごとに調査・研究し、最終的に市長へ政策提言を行います。</p>			